

市民公益活動 たかつきフェスタ・2006

参画団体 35 団体・来場者約 500 名

3月4日(土) 大盛況のうち幕を閉じる！！

半年前の9月5日、コミュニティ推進課とたかつき市民活動ネットワークの協働で実行委員会を立ち上げ、開催までに実行委員会を計9回と拡大実行委員会を計3回、そして開催後、ふりかえりを兼ねた交流会としての拡大実行委員会を1回開催いたしました。フェスタの開催目的は、市民公益活動を広く市民へ知らせる、団体間のつながりをつくる、そして行政と団体との顔の見える関係をつくるということでした。それらを100%達成できたという訳ではありませんが、目的達成に向けての第一歩を踏み出すことができ、開催に向けて取り組んできたプロセスそのものに大きな意味があるものと多くの方々に評価をいただきました。



当初、参画団体を30団体集めようと、少し無謀にも思える数値目標を掲げましたが、結果35団体が結集し、最終的には会場が狭く感じられるほど熱気のあるフェスタとなりました。最終のふりかえりと交流を目的とした第4回拡大実行委員会では、「ぜひ、次年度はこんなふうに取り組みたい」との声がたくさんあり、「開催してよかった」との見解で一致しました。

なお、次年度の開催に向けては、下記のような改善点があげられました。

もう少し広い会場での開催を(車椅子など、バリアフリーを目指すためにも)

終了時間を少しはやめ、盛り上がりを残したまま終了する。

参画市場にブース番号を表示し、来場者にもわかりやすくする。

団体で順番に時間配分を決め、会場外でチラシをまき、通りがかりの人の呼び込みを行う。

参画市場の案内係を配置する。

会場レイアウトのさらなる工夫と、役割分担の明確化を。

メインステージの内容などの再検討を。 など

これらの改善点は取り組んだからこそ見えてきたことで、具体的に行動していくことの重要性を再確認することが出来ました。

次年度に向けての動きは、まだまだこれからですが、ここでの出会いとつながりを次に発展させていくことが、当ネットワークの最重要課題であり、また市民や行政に当ネットワークの存在意義を示すことにつながるのではないかとその思いを強くしました。



(文責：フェスタ実行委員長 遠矢家永子)

メインステージでは・・・

朝の準備に手間取り、9時45分オープニング
アクトの予定を急遽10時に変更し、プログラム内
容を入れ替えるというアクシデントからの開幕で
した。奥本市長と鍵谷理事長の挨拶の後、NA
NIWA娘のチアダンスに登場してもらい、元

気
いっ
ぱ
いに
メイ
ンス



ステージの幕が開けられました。午前
はパネルディスカッション「NPOと行政の協働で
描こう！みんなでつくるまち～高槻市&他市の
実践から学ぶ～」と題し、NPO法人友友代表
小林房子さん・NPO法人いきいき会代表坂田朱
美さん・大阪府民活動推進課NPOグループ総
括主査金寄修さんにお話いただきました。当初、
参画団体の研修と位置づけ、内容を検討したパ
ネルディスカッションでしたが、参画団体のみな
さんは来場者の対応に追われ、あまり参加でき
ず「協働」に関する課題を共有できなかったこと
がとても残念でした。

「単に行政に要求していただくだけの団体ではなく、
地域からも行政からも信頼されるよう、目の前に
ある課題に1つずつ丁寧に取り組み、実績を積
み上げ、自立した団体をめざそう。」「NPOが先
を走り、行政が後をついてくる。行政を変えるくら
いの意気込みが大事。」「困ったときに良い知恵
が出てくる。困ったときには横につながるものが
重要。」「最終的に責任を取る人(代表)が決断

する。その決断によって、離れる人もいるし、新
たに出会う人もいる。決断したら責任を全うする
ことで団体を継続させていく。」「『協働』とはあく
までも手段。行政の責任は責任として消えるわけ
ではない。」など、「市民公益活動」「協働」などに
関する重要な視点を参加されたみなさんと共有
することが出来ました。

ランチタイムライブでは、月夜さんのさわやか
な歌声が疲れを癒してくれました。

午後のプログラムは、交流亭楽笑さんの愉快
で楽しいインタビューによる団体紹介と団体によ
るパフォーマンス、そしてチャリティー・オークシ
ョンへと続きました。福祉演芸活動「おもちゃ箱」
による腹話術、NPO「幸せな家庭環境を考える会」
によるクイズで
遊ぼう、NPO
「高槻の高齢社
会をよくする会」
の介護予防体
操、「こんぺいと
う」による南京玉
すだれなど、団



体によるパフォーマンスはそれぞれに趣向を凝
らした内容で、ステージを大いに盛り上げていた
いただきました。オークションでは出品された品物は
すべて競り落とされ、ユニセフへの寄付金として
20,000円の収益をあげることができました。実行
委員会一同、世界の子どもたちへの支援に少し
でも役立てていただければと心より願っていま
す。

(文責:ステージ担当遠矢)

参画市場では・・・

・・・参画団体ブース・・・

主催者も含めて35団体が出展しました。それぞれ工夫をこらした展示で来場者の関心呼びました。



喫茶コーナー

200人の予定に対し、400人来場。コーヒー、ジュース、クッキーともに大人気。「いきいき会」の皆さんには無理を聞いていただき有難うございました。



子どもの広場

紙芝居、木工教室、折り紙、わらべ歌など盛り沢山。子どもよりも親の方が熱心？親子で楽しんでおられました。

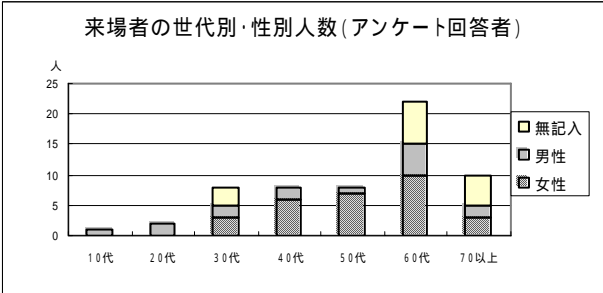


スタンプラリー

240人の方が参加。景品のマールチョコレートは明治製菓様から寄付していただきました。

フェスタ来場者の声

59名の方がアンケートに答えてくださいました。その内訳は右のグラフのとおりです。ご協力有難うございました。



全体として、家庭的な楽しいフェスタで、様々な市民活動団体の活動を知ることができ、大変よかったとの評価でした。また、「高槻市の中にこんなに多くの公益活動がなされている事に驚き、同時に興味のあるものに参加する機会を与えていただき感謝したい」という声も寄せられました。私たちは、このフェスタが、多くの市民が市民活動へ参加するきっかけになることを願っています。

参画市場について

スタンプラリー、喫茶コーナーおよび子ども広場の人気が高かった。「参画市場の団体が積極的にチラシを渡したりクイズを出したりして、お客さんにかかわろうとする姿がよかった。」「ただ単にスタンプを押すのではなく、その団体にふさわしいクイズに答えてスタンプを押すなどは、人々を呼び込むのに良い試みと思う。」

紙面の都合ですべてを掲載できませんが、主なご意見を紹介します。

配布資料について

「大変良かった」19%、「良かった」47%で、2/3の方に満足していただきました。

メインステージについて

その他のご意見

「一般市民の方にも広く知らせて沢山の人の見てもらいたいと思いました。」「ほとんど関係者といった感じで一般の人は少なく感じた。」など、もっと広がりのあるフェスタに発展させていくことを望む声も多く寄せられました。今後の課題です。

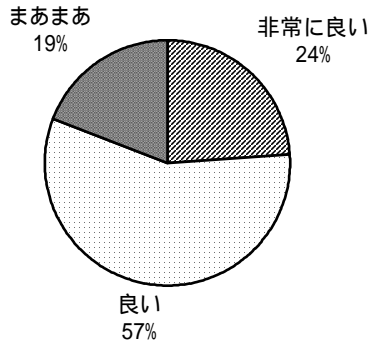
「楽笑さんの司会がとても楽しく、参画団体を対話型で紹介したのは良かった。」「お客さん参加型であったり、出演者が語りかける場面もあり、お客さんを巻き込む姿勢がいろいろ見られてよかった。」「昼休みのステキな心あたまるライブをありがとうございました。」



21団体がアンケートに答えていただきました。

(1) 参画しての感想

81%の団体が良かったと評価。多くの団体と交流できて良かったし、勉強になったなど。

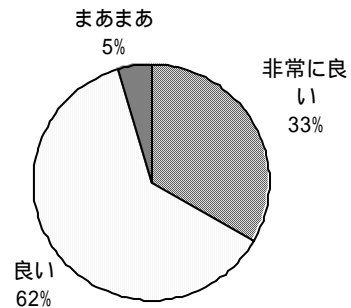


(2) 開催日時について

76%の団体が良かったと評価。開催日については、特に問題ないが、時間はもう少し短いほうがよいなど。

(3) 会場(場所)について

95%の団体が良かったと評価。市民が良く知っている点でよい場所だが、やや狭い。今後参加者が増えることを考えると便利で広い場所が必要など。



(4) 次回開催について

全ての団体が次回も開催を希望。定期的な開催を求める意見も出ています。

05年12月～06年3月の主な活動

- 12月 NPO 協働活性化モデル事業<総務省委嘱>選考参画交流サロン;高槻市の歴史を学ぶ
- 2月 市コミュニティ推進課/協働事例研究会に参画(05/2月開催の「高槻市市民公益活動促進フォーラム」発表・協働事例のフォローアップ研究会)交流サロン;高槻市の水道について
- 3月 市民公益活動 たかつきフェスタ・2006を市と共同主催「サポートセンター設置場所」見直し提案書のとりまとめ交流サロン;高槻市の高齢者福祉の現状と今後について

冊子「高槻市民が知りたい100項目」を発刊。

研究部会の調査研究の成果として、冊子「高槻市民が知りたい100項目」を印刷・製本、「たかつきフェスタ・2006」にて、実費相当分ワンコイン@500円で発売することができました。会員には無料頒布です。お力添えいただいた会員諸兄弟のご苦勞に感謝です。これの活用プログラムをどう展開すべきかが06年度の課題です。
<研究部会からのお願い> 冊子折込みのアンケートにご記入いただき、事務局戻しを確実にお願いします。次のステップアップの糧とさせていただきます。

2006年度通常総会を5月13日(土)13:30(於サポートセンター)にて開催予定

たかつき市民活動ネットワークは設立後4年目にはいっています。05年度は、高槻市協働活性化モデル事業提案制度がスタートしました。行政と協働した「たかつきフェスタ・2006」を市民団体と3月4日に盛大裏に開催することもできました。「高槻市民が知りたい100項目」冊子も発刊しました。市政の課題を共有する交流サロンも順調な展開をしました。しかし、そんな中でも「ネットワークって何をやっているの?」という声もきこえます。3年半を総括して、ネットワークの存在価値を問い直す2006年度以降の事業計画を策定する大事な総会です。5月13日(土)13:30から、サポートセンター会議室で開催します。是非ご参集ください。詳しくは後日ご案内します。

今後の予定

- 4月1日: 第13回理事会
- 4月15日: 第14回理事会
- 4月22日: 第15回理事会
- 4月29日頃: 06年度通常総会議案送付
- 5月13日: 06年度通常総会

編集後記

原稿が期限内に集まらずにバタバタしました。情報を公開し、コミュニケーションに努め、互いの信頼感のベースに、プラスの変化・改革を求める市民活動を促す先鋒でありたいものです。<緑>